事業番号 2023 - 文科 - 22 - 0070

		今和5年	度行政事業レビュ	ーシート	(文部科学	2名)				
事業名	外国人学校にお	ける保健衛生対策事業	及 一	サーグ・1・ 担当部局庁	大臣官房国際課	<u>Дар</u> 17-	厂 目 / / / / / / / / / / / / / / / / / /				
事業開始年度		年度 事業総 (予定)		度 担当課室	大臣官房国際課	大臣官房国際課長 北山 浩士					
	 一般会計	(予定)	平及			اعدا	山 洁工				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	_			関係する 計画、通知等	・外国人との共生社会の実現に向けたロー ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止: 15回) 資料)	対応策(令和5年度改訂)(令和5年6月9日 外国人: ドマップ(令和5年度一部変更)(令和5年6月9日 外 を進める上での在留外国人支援策について(令和2年 余予防のための支援策の強化く検討課題>(令和3:					
政策	1 新しい時代	に向けた教育政策の推進									
施策	施策1-6 男女共	:同参画・共生社会の実現及び学	空校安全の推進(新04-0007)	<u>主要経費</u>		その他の事項経費					
		xt.go.jp/content/20221215-mxt_l	•								
	「外国人学校の保健衛生環境に係る有識者会議(令和3年5月25日 大臣官房国際課長決定)」における議論等により抽出された(1) 外国人学校の把握に関する課題 (2)外国人学校において保健衛生に対する対策を講じる際に生ずる課題(保健衛生基準の設定、適切な情報の入手 等)(3) 外国人学校への支援体制に関する課題(地方自治体、支援団体他)の3つの観点を踏まえ、本事業において外国人学校における保健衛生に関する取組を実施し、その成果の展開を図ることで、各外国人学校や地方自治体等による取組を促進する。										
	我が国に在留する外国人の子供の数は近年増加傾向にあり、外国人の子供に対する教育環境の整備の重要性は高まっている。外国人の子供の中にはいわゆる外国人学校に通っている者もおり、外国人学校の多くは各種学校(127校、2万5,636人)又は認可外施設(89校以上)である。こうした外国人学校には、保健衛生に係る一条校向けの基準は適用されていない。このような状況の中、コロナ禍では外国人学校でも感染者やクラスターが発生し、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策分科会等において在留外国人コミュニティにおける感染拡大の重要性が指摘された。										
事業概要 (5行程度以内)	外国人学校プラ 外国人学校の 進するため、保	ラットフォーム事業(令和4年月 中には、広域から子供を受入 と健衛生に係る相談機能と情報	度〜令和6年度) れている等の理由により、物 報発信機能を併せ持つ全国	寺定の地方自治体との関(的な窓口を運用する。	係構築が難しい外国人学校	も存在する。こうした学校に	おける保健衛生対策を促				
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20230328-mxt_kouhou01-000024735_1.pdf										
	委託·請負										
補助率等	_										
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求				
		当初予算(A)	0	-	62.8	26.4	23.7				
		補正予算(B)	0	-	-	-					
						-					
						-					
						_					
	予算の 状況					-					
予算額• 執行額						-					
(単位:百万円) (インプット)		前年度から繰越し(C)	0	0	0	-	-				
(4) 2 3 3 14		翌年度へ繰越し(D)	0	0	0	_					
		予備費等(E)	0	0	0	-					
	=	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	ı	62.8	26.4	23.7				
		執行額(G)	0	0	27.7						
	執行率(%) =(G)/(F)		-	_	44%						
	当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		-	_	44%						
		成出予算項·目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な	主な増減理由(・要望額・予備費)					
	(項)	国際交流•協力推進費			※金額は単位未満四捨 ある。	:五入していることから、台	合計が一致しない場合が				
	(E		22	22	٠ م						
令和5-6年度	()		1	1	_						
予算内訳 (単位:百万円)	(E		2	0	-						
			1	0	1						
		その他	0	0							
		計(A)	26.4	23.7	1						

()	動内容① ソクティビティ)	の内容も踏まえ、外国人学校等に対する	ス感染症対策の実施を含めた係る必要な情報発信・相談対応を							<i>~とりまと</i>
	\downarrow									
#L D 1	あながば私中 体	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	標及び活動実績		外国人学校、自治体、国際交流協会等へ の本事業の取組に係る広報(電話、チラシ	活動実績		-	-	854	—————————————————————————————————————	——————————————————————————————————————
()	' ウトプット) 	地方自治体等に必要な情報を届ける	郵送、訪問等)の実績(年度毎の累計回数)	当初見込み	回	-	-	300	1,000	1,000
ļ	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	外国人学校、自治体、国際交流協会等	へ個別に直接広報を行うことに	より、本事業	美のメ ール	ノマガジンの 有	用性が認知さ	れ、登録者数か	ぶ増加する。	
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年	·度 4 年J
	標及び成果実績 ①-1			成果実績	件	-	-	652	652	
(短其		本事業を通じてより多くの外国人学校、 地方自治体等に必要な情報を届ける	メールマガジンの登録者数	目標値	件	-	-	600	600	
				達成度	%	-	-	108.7	108.	7
,	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	メールマガジンを使用して事業ホームペ	ページの更新情報等を周知する。	ことにより、;	ホームペ -	一ジの閲覧数が	が増加する。			
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年	·度 5 年
		本事業における情報発信・相談対応を もとに、より多くの外国人学校が保健衛 生対策に取り組めるようにする		成果実績	<u> </u>	-	-	2,446		
				目標値 達成度	<u> </u>	_	_	1,500 163.1	5,000)
根拠 計•5 2性的	内なアウトカムに 一る成果実績 成果目標①-3の 設定理由	「外国人学校の保健衛生環境整備事業 メールマガジンやホームページを通じ、					ることにより、名	5外国人学校に	おける取組が仮	産進される
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終	
果目相	標及び成果実績 ①−3		本事業における情報発信や	成果実績	単位校	令和2年度	令和3年度 -	令和4年度		
	①-3 明アウトカム)	成果目標 本事業における情報発信・相談対応に より、外国人学校に通うより多くの子供 を取り巻く保健衛生環境を向上する		目標値	校 校					
(長期 果実 根 計・対 性 的	①-3 朝アウトカム) 績及び目標値の として用いた	本事業における情報発信・相談対応に より、外国人学校に通うより多くの子供	本事業における情報発信や 相談対応を活用して保健衛生 対策に係る取組を進めた外国 人学校の数	目標値 達成度	校 校 	- - -	-	-	- 60	
(長期 果実級 計・対	①-3 別アウトカム) 績及び目標値の として用いた データ名(出典) 対なアウトカムに	本事業における情報発信・相談対応により、外国人学校に通うより多くの子供を取り巻く保健衛生環境を向上する	本事業における情報発信や 相談対応を活用して保健衛生 対策に係る取組を進めた外国 人学校の数	目標値 達成度	校 校 % %			-	- 60	
長期を対しています。	①-3 例アウトカム) 績及び目標値の として用いた データ名(出典) かなアウトカムに つる成果実績 ム設定について	本事業における情報発信・相談対応により、外国人学校に通うより多くの子供を取り巻く保健衛生環境を向上する	本事業における情報発信や 相談対応を活用して保健衛生 対策に係る取組を進めた外国 人学校の数 ため、実績について未測定。令	目標値 達成度	校 校 % %			-	- 60	
長期を対しています。	①-3 例アウトカム) 績及び目標値の として用いた データ名(出典) りなアウトカムに る成果実績	本事業における情報発信・相談対応により、外国人学校に通うより多くの子供を取り巻く保健衛生環境を向上する	本事業における情報発信や 相談対応を活用して保健衛生 対策に係る取組を進めた外国 人学校の数 ため、実績について未測定。令	目標値 達成度 和5年度以 いて定性的が	校 校 % % なアウトカ	- - - - を測定予定。	- - - いる理由	-	- 60	

		外国人学校における新型コロナウイルスの内容も踏まえ、外国人学校等に対する								長終とりまと
	1									
5動目	標及び活動実績	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見2
		本事業を通じてより多くの外国人学校、		活動実績	回	-	-	1	-	-
		地方自治体等に必要な情報を届ける 	数	当初見込み	回	-	-	1	3	3
1	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	セミナー・研修会等の開催により、より多	らくの外国人学校や地方自治体	等に対し、タ	卜 国人学	校における保優	建衛生対策のⅠ	取組に係る情幸	最が届く。	
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度 4 年
果目	標及び成果実績 ②-1			成果実績	人	-	-	62	6	32
(短	期アウトカム)	本事業を通じてより多くの外国人学校、 地方自治体等に必要な情報を届ける	開催したセミナー・研修会等への累計参加者数	目標値	人	-	-	60	6	60
				達成度	%	-	-	103.3	10	3.3
l		セミナー・研修会等の開催により、学校に 具体的な課題や疑問を相談するために			みが周知 る	される。これを足	沓まえて、各外	・国人学校で取	組を進めるに	あたり、個別
成果目標及び成果実績 ②−2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標	年度 5 年
		本事業における相談対応により、個別の外国人党技における保険体が等	多言語相談窓口等への相談 件数	成果実績	件	-	_	34		_
				目標値 達成度	件 %			30 113.3		60
根拠 充計•- 定性的	積及び目標値の型として用いたデータ名(出典)内なアウトカムにする成果実績の果実績の限果目標②-3の	事業委託先からの報告								
<u> </u>	設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	セミナー・研修会等への参加や多言語材		国人学校に						選進される。
建田	標及び成果実績	成果目標	定量的な成果指標 		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度		6 年
	②−3	本事業における情報発信・相談対応に	本事業における情報発信や 相談対応を活用して保健衛生	成果実績	校	_	_	-		
\ 157	VI 7 1 73-47	より、外国人学校に通うより多くの子供 を取り巻く保健衛生環境を向上する	対策に係る取組を進めた外国人学校の数	目標値 達成度	校 %	-		-		60
根拠 計• e性的	績及び目標値の として用いた データ名(出典) りなアウトカムに ける成果実績	※令和4年度は、事業実施期間が短い				I				
			アクティビティ②につい	いて定性的な	アウトカ	ムを設定してい	いる理由			
ウトカ	」ム設定について の説明		アクティビティ②につ	ひいてアウト ;	カムが複	数設定できない	/理由			
		_								

		外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ(令和5年度一部変更)(令和5年6月9日	ヨ 外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議決定)									
事業に関連する KPIが定められて	URL	https://www.moj.go.jp/isa/content/001397443.pdf										
いる閣議決定等		施策番号45										
		■ 事業所管部局による点検・改善事業所管部局による点検・改善										
		ナネバロログ	日煙在度にかける効果測学に関する証価(今和6年度実施)									
点検結果		・アクティビティ①、②ともに、短期・中期の測定指標は順調に推移している。 ・令和4年度の執行率が、44%となっているが、これは入札不調のため、当初の計画から事業内容を一部変更したことが要因である。	目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)									
改善の 方向性		・アクティビティ①、②について、目標年度に向け引き続き取り組む。										
		外部有識者の所見										
本事業は、内閣官房 国人学校の保健衛生	新型コロナ 主への取組	トウイルス感染症対策分科会等において在留外国人コミュニティにおける感染拡大の重要性が指摘された等によ lは、教育環境整備の観点からも継続させる必要があるものと考えられ、これまで提供/蓄積してきた情報およびター	外国人学校等との窓口等の継続可能性について検討する必要がある。									
		行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程										
事業内容の一	部改善	本事業は、外部有識者の所見を踏まえ、外国人学校の保健衛生への取組は、教育環境整蓄積してきた情報および外国人学校等との窓口等の継続可能性について検討する必要が	≧備の観点からも継続させる必要があるものと考えられ、これまで提供/ 「ある。									
		所見を踏まえた改善点/概算要求における反映	收状况									
年度内に改善	を検討	本事業は、令和6年度まで実施する予定としており、令和7年度以降の継続の要否につい	ては、指摘も踏まえ引き続き検討を行う。									
		公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)に	おける取りまとめ									
		_										
		上門,西共中地四										
		上記への対応状況										
海土 <u>厂</u> 森山土北	5.快車電											
過去に受けた指と対応状態												
		その他の指摘事項										
		上記への対応状況										
		_										
_												
TI CONT		関連する過去のレビューシートの事業番号										
平成23年度	-											
平成24年度 平成25年度	-											
	-											
平成26年度 平成27年度	\vdash											
平成2/年度 平成28年度	-											
	-											
平成29年度	-											
平成30年度	-											
令和元年度	-											
令和2年度	0001											
令和3年度	2021	文科 新22 0007										
令和4年度	2022	文科										

※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省 28百万円

民間企業等及び地方自治体への委託費の支出 委託先の選定・契約に係る準備・実施 事業実施のための有識者会議の運営 等 庁費 0.08百万円 諸謝金 0.12百万円 委員等旅費 0.01百万円 職員旅費 0.22百万円

金額

(百万円)

チェック

【委託費】

A.メディフォン株式会社 27百万円

「外国人学校プラットフォーム事業」の実施

外国人学校の保健衛生に係る情報発信及び相談対 応を行う全国的な窓口の運用 等

資金の流れ (資金の受け取り先が 何を行っているかにつ いて補足する) (単位:百万円)

A. B. 費目•使途 金額 費目 使 途 費目 使 途 (「資金の流れ」において (百万円) ブロックごとに最大の金人件費 事業スタッフの賃金 額が支出されている者に ついて記載する。費目と 光熱費等 一般管理費 使途の双方で実情が分 事業費 諸謝金、旅費、会議費、雑役務費等 かるように記載) 計 計

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	メディフォン株式会社	6010401133086	外国人学校向け保健衛生にかかる情報 発信、セミナー開催、情報サイトの運営 等	27	随意契約(その他)	-		_
	支出先上位10	チェック						